平成31年3月22日
ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ
及びﾗｸﾞﾋﾞｰﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ
推進対策特別委員会

東京 2020 オリンピック聖火リレーについて

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会において、2019 年 3 月 12 日（火）及び 3 月 20 日（水）に、以下の事項が公表されました。

１　2019 年 3 月 12 日（火）発表分

・東京 2020 オリンピック聖火リレー『復興の火』の展示場所について

2020 年 3 月 20 日から 3 月 25 日までの間、宮城県、岩手県、福島県の順番で各 2 日間『復興の火』を展示

・東京 2020 オリンピック聖火リレーグランドスタート会場について

福島県の「Ｊヴィレッジ」が聖火リレーグランドスタート会場に決定

２　2019 年 3 月 20 日（水）発表分

・東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレム、トーチの発表について

・東京 2020 聖火リレー公式アンバサダーの発表について

TOKYO 2020

PRESS RELEASE

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
<Tokyo 2020.NEWS-2019-059>
2019 年 3 月 12 日

東京 2020 オリンピック聖火リレー 『復興の火』の展示場所およびグランドスタート会場の決定について

東京 2020 組織委員会は、東日本大震災被災３県（岩手県、宮城県、福島県）、復興庁、国際オリンピック委員会（IOC）などと協議をし、以下のとおり『復興の火』の展示場所およびグランドスタート会場を決定しました。

『復興の火』は復興オリンピックの趣旨を踏まえ、東京 2020 オリンピック聖火リレーのコンセプトである『Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。』に沿い、東日本大震災から 10 年目に、東京 2020 オリンピック聖火リレーの一環として実施されるものであり、復興に力を尽くされている被災地の方々に、ギリシャで採火した聖火をリレーに先立ち、ご覧いただきます。
2020 年 3 月 20 日から 3 月 25 日までの間、宮城県、岩手県、福島県の順番で各 2 日間『復興の火』を展示してまいります。そして、3 月 26 日の東京 2020 オリンピック聖火リレーのグランドスタート会場を福島県（楢葉町・広野町）『ナショナルトレーニングセンターJ ヴィレッジ』とし、移動日を含む 121 日間かけて、日本全国を回ります。

➢ 『復興の火』展示場所およびグランドスタート会場の詳細は以下のとおりです。

2020 年

3 月 20 日(金)	ギリシャで採火した聖火が宮城県にある航空自衛隊松島基地に到着 宮城県石巻市　「石巻南浜津波復興祈念公園」
3 月 21 日(土)	宮城県仙台市　「仙台駅東口エリア」
3 月 22 日(日)	岩手県　「三陸鉄道・SL 銀河車内（宮古駅～釜石駅～花巻駅）」
3 月 23 日(月)	岩手県大船渡市　「キャッセン大船渡エリア」
3 月 24 日(火)	福島県福島市　「福島駅東口駅前広場」
3 月 25 日(水)	福島県いわき市　「アクアマリンパーク」
3 月 26 日(木)	福島県楢葉町・広野町「J ヴィレッジ」にてグランドスタート

Tokyo 2020 Olympic Torch Relay Presenting Partner
Coca-Cola　TOYOTA
TOKYO 2020

➢ 『復興の火』展示場所概要

- **3 月 20 日（金）　宮城県石巻市「石巻南浜津波復興祈念公園」**
  石巻市南浜地区は東日本大震災の津波と火災の延焼により 400 名もの方々が犠牲になった場所であり、その跡地を追悼と復興のシンボルとなる公園として、2020 年 3 月上旬に一部完成予定。

- **3 月 21 日（土）　宮城県仙台市「仙台駅東口エリア」**
  東日本大震災発生当時、構内が損壊したため県内の主要鉄道機関が利用不能になった。仙台駅東口エリアが位置する仙台市宮城野区は仙台市内で最も強い震度６強を記録したほか、隣接する同市若林区とともに海岸部は甚大な津波被害を受けた。

- **3 月 22 日（日）　岩手県「三陸鉄道・SL 銀河車内（宮古駅～釜石駅～花巻駅）」**
  三陸鉄道の宮古駅～釜石駅間は東日本大震災により甚大な被害を受けたが、約８年の月日を経て復旧し、2019 年 3 月 23 日（土）に JR 東日本から三陸鉄道に移管される。JR 東日本の SL 銀河は、東日本大震災からの復興支援を目的の一つとして、2014 年から釜石駅～花巻駅間を運行している。

- **3 月 23 日（月）　岩手県大船渡市「キャッセン大船渡エリア」**
  大船渡市は東日本大震災で震度 6 弱を観測し、津波によって市の中心市街地が被災した。津波復興拠点整備事業区域である当該エリアに、2017 年、被災事業者等の再建商業施設「キャッセン大船渡」が開業、2018 年には防災・観光・交流施設がオープンしている。

- **3 月 24 日（火）　福島県福島市「福島駅東口駅前広場」**
  福島県の玄関口であり、東日本大震災の対応拠点であった福島県庁や延べ 11 万人が避難したあづま総合体育館が所在する福島市の中心地。震災で大きな被害を受けた福島駅は、被災直後から各路線で運転を中止したが翌月には全線で運転を再開させ、首都圏と被災地をいち早くつなげた。

- **3 月 25 日（水）　福島県いわき市「アクアマリンパーク」**
  環境水族館「アクアマリンふくしま」や観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」などが集まるいわき市の観光・交流の拠点。「アクアマリンふくしま」は、東日本大震災による甚大な被害を受けたが 2011 年 7 月 15 日に再オープンを果たし、いわき市の復興のシンボルとなっている。

➢ グランドスタート会場概要

- **3 月 26 日（木）福島県楢葉町・広野町「ナショナルトレーニングセンターJ ヴィレッジ」**
  1997 年に日本初のサッカーのナショナルトレーニングセンターとして開設され、サッカー日本代表の合宿地としても利用されてきた。2011 年 3 月、東日本大震災での原子力発電所事故の発生により、事故対応の拠点基地となった。その後、全天候型練習場や宿泊棟など新たな施設も整備され、『福島県の復興のシンボル』として生まれ変わった。

【本件に関するお問い合わせ】
東京 2020 組織委員会
広報局広報部戦略広報課
担当：近藤
電話：03-6631-1949 / FAX：03-3502-8874
Email：pressoffice@tokyo2020.jp

【各展示場所・グランドスタート会場に関するお問い合わせ】
（宮城県関係）
宮城県震災復興・企画部
オリンピック・パラリンピック大会推進課
運営調整班
電話：022-706-7116/FAX：022-706-7118
担当：折居、芳村
E-mail：olypara-u@pref.miyagi.lg.jp

（岩手県関係）
岩手県文化スポーツ部
スポーツ振興課
電話：019-629-6495 / FAX：019-629-6791
担当：星野
Email：AK0003@pref.iwate.jp

（福島県関係）
福島県文化スポーツ局
オリンピック・パラリンピック推進室
担当：佐藤、鈴木
電話：024-521-7312/ FAX: 024-521-8672
Email: olipara_suishin@pref.fukushima.lg.jp

TOKYO 2020

TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES

PRESS RELEASE

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

<Tokyo 2020.NEWS-2019-072>

2019 年 3 月 20 日

東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレム、トーチ、東京 2020 聖火リレー公式アンバサダーの発表について

東京 2020 組織委員会は、ギリシャのアテネから宮城県の航空自衛隊松島基地に聖火が到着する 1 年前を記念し、東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレム、東京 2020 オリンピック聖火リレートーチ、東京 2020 聖火リレー公式アンバサダーを発表しました。

➢ 『東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレム』

東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレムは、東京 2020 オリンピック聖火リレーのシンボルデザインです。東京 2020 大会ブランドの一貫性を保ち、ファミリーであることがわかるように、大会エンブレムをデザインの起点としています。

大会エンブレムを構成する 3 つの四角形を聖火の炎と見たて、炎のダイナミックな動きを表現しています。また、日本らしさを表現するデザインモチーフとして、「拭きぼかし」という浮世絵の技法を用いました。色彩は、東京 2020 オリンピック聖火リレーらしい炎となるよう、日本の伝統色を用いています。エネルギッシュ、情熱的、愛情深い、行動力があるといったイメージのある「朱（しゅ）」に、大地を連想させる「黄土（おうど）」を組み合わせ、日本らしい祝祭感を醸し出します。

聖火ランナーとともに、日本の豊かな大地を駆け抜けていく聖火が、未来へと続く、「希望の道」を照らしだしていきます。

東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレム

OLYMPIC TORCH RELAY

TOKYO 2020

Tokyo 2020 Olympic Torch Relay Presenting Partners

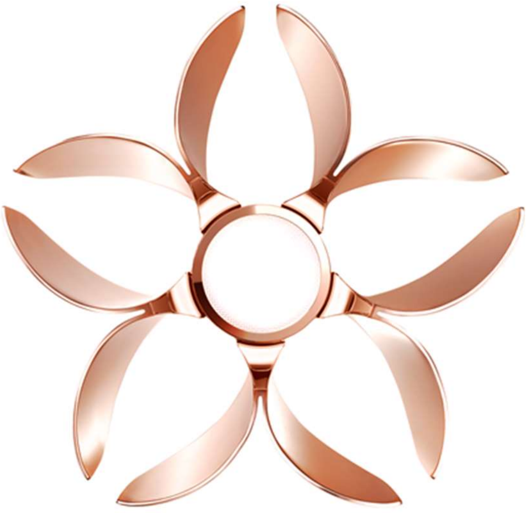
Coca-Cola　TOYOTA　日本生命 NISSAY　NTT

TOKYO 2020

➢ 『東京 2020 オリンピック聖火リレートーチ』

東京 2020 オリンピック聖火リレートーチは、デザインから製造まで共同企業体を形成する仕組みで公募を実施し、各界の有識者の皆さまの協力を得て、優れたデザイン性、聖火を点す燃焼機構の性能、持続可能性への配慮などさまざまな観点で 2 回の審査会を実施し、選出されました。

東京 2020 オリンピック聖火リレートーチ



≪東京 2020 オリンピック聖火リレートーチデザイン・特徴≫

東京 2020 オリンピック聖火リレーのトーチは、日本人に最もなじみ深い花である桜をモチーフとしています。2020 年 3 月、桜の季節の訪れとともに、オリンピック聖火は「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」という東京 2020 オリンピック聖火リレーのコンセプトと一体となり、日本全国を巡ります。

◆　伝統と現代技術の融合

日本のかたち、桜紋。

東京 2020 オリンピック聖火リレートーチは、その伝統的な形を新幹線の製造にも使われている製造技術（アルミ押出成形）を用いて形作っています。

継ぎ目のない、ひとつなぎのトーチ。

日本の伝統と高い技術力がひとつになることで生み出された、東京 2020 オリンピック聖火リレーを象徴するかたちです。

◆　復興への想いと持続可能性への配慮

東京 2020 オリンピック聖火リレートーチの素材の一部には、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用※しています。人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、平和のシンボルとしてオリンピック聖火リレートーチに姿を変え、一歩ずつ復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝えます。

※東京 2020 オリンピック聖火リレートーチに用いられている再利用アルミの含有率は約 30%です。

◆　美しく、燃え続ける炎

東京 2020 オリンピック聖火リレートーチは、聖火の形もデザインされています。

花びらから生み出された 5 つの炎は、聖火リレートーチの中央でひとつとなり、より大きな輝きで「希望の道」を照らします。

聖火を灯す燃焼部には、聖火を保ち続けるために、火力の強い青い炎と、火のない燃焼（触媒燃焼）のふたつの燃焼が、聖火の赤い炎を支える仕組みが採用されています。

121 日間という長期に渡る東京 2020 オリンピック聖火リレー。

時間や季節、気候、地域によって大きく変化する日本の環境の中で、美しく、力強い炎を灯し続けます。

◆　全ての人のための聖火リレートーチ

東京 2020 オリンピック聖火リレートーチは、重さや握りの形状にも配慮しています。年齢や性別を問わず、誰にとっても扱いやすいトーチです。

◆　東京 2020 オリンピック聖火リレートーチの仕様

全　　長：710mm

重　　量：1.2kg（本体約 1 kg、燃料部 200ｇ）

色　　　：桜ゴールド

主な素材：アルミニウム（仮設住宅由来の再生アルミニウム約 30%を含む）

≪審査会開催日≫

第 1 回審査会 : 2018 年 4 月 7 日（土）、4 月 8 日（日）
第 2 回審査会 : 2018 年 7 月 25 日（水）

≪製造共同企業体≫

聖火リレートーチ企画・デザイン	: 吉岡徳仁デザイン事務所
聖火リレートーチ筐体製造	: 株式会社 UACJ 押出加工
素材調達	: 株式会社 LIXIL
燃焼機構	: 新富士バーナー株式会社
燃料供給・燃料ボンベ製造	: ENEOS グローブ株式会社

≪東京 2020 聖火リレートーチデザイナー≫

吉岡 徳仁（ヨシオカ トクジン）

1967 年生まれ。デザイン、建築、現代美術の領域において活動し自然をテーマにした詩的な作品には、日本の美の根源が映し出されている。
光などの非物質的な要素を形象化した作品は、形という概念を超え、人間の感覚を超越するような、独自の表現を生み出している。
世界でも数々の国際的な賞を受賞している。

≪東京 2020 聖火リレートーチ審査員≫

氏名	所属等
井上 一人	リンナイ（株）執行役員生産技術部長
上治 丈太郎	東京2020組織委員会参与、東京2020聖火リレー検討委員会委員
榎本 正徳	（一社) 日本エルピーガス供給機器工業会専務理事
大谷 繁	（一社）地球温暖化対策技術会技術顧問
川崎 和男	大阪大学大学院特任教授、博士（医学）
駒木 裕史	（一社）日本ガス石油機器工業会ガス機器技術委員長、 （株）ガスター 経営管理部所属
田口 亜希	（一社）日本パラリンピアンズ協会理事、パラリンピアン
武田 美保	東京2020聖火リレー検討委員会委員、オリンピアン
長澤 忠徳	武蔵野美術大学学長、東京2020マスコット審査会委員
廣田 尚子	女子美術大学教授、グッドデザイン賞審査委員
深澤 直人	多摩美術大学教授、±0デザイナー、無印良品デザイナー兼アドバイザリーボードメンバー、経済産業省戦略的デザイン活用研究会委員
藤野 純一	国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員、（公財）地球環境戦略研究機関プログラムディレクター、東京2020街づくり・持続可能性委員会委員／脱炭素WG座長
宮田 亮平	文化庁長官、東京藝術大学前学長、金属工芸家
安西 葉子	有限会社ドリルデザイン 取締役
山本 啓	（株）長府製作所品質保証部 部長

※50 音順　敬称略

➢ 『東京 2020 聖火リレー公式アンバサダー』

東京 2020 聖火リレー公式アンバサダーは、「東京 2020 オリンピック聖火リレー」と「東京 2020 パラリンピック聖火リレー」それぞれの聖火リレーの魅力を国民の皆さまや世界中の皆さまに発信していく役割となります。

©Nextend

野村　忠宏（ノムラ タダヒロ）

オリンピアン／奈良県出身

アトランタ 1996 大会、シドニー2000 大会、アテネ 2004 大会にて、柔道男子 60 キロ級で金メダルを獲得。柔道史上初、全競技を通じてアジア人初となるオリンピック 3 連覇を達成。現役引退後、国内外にて柔道の普及活動を展開。東京 2020 大会入賞メダルデザインコンペティション審査会の審査員を務める。

≪コメント≫

東京 2020 聖火リレー公式アンバサダーに就任しました野村忠宏です。就任のお話を聞いた時は本当に驚きましたが、すごく嬉しい気持ちでいっぱいです。私は選手として三度のオリンピックに出場したのですが、聖火は私にとってはもちろん、オリンピックを愛する、スポーツを愛する皆さんにとっても本当に特別なものだと思います。東京 2020 大会の聖火リレーをみんなで盛り上げて、オリンピック・パラリンピックを東京でやって良かったという皆さんの笑顔で溢れることを願います。そして、この東京 2020 大会で得たものがレガシーとして後世にまで残り、語り継がれる素晴らしい大会になっていけたらすごく嬉しく思います。一緒に盛り上げていきましょう。

©Aki Taguchi

田口　亜希（タグチ アキ）

パラリンピアン／大阪府出身

アテネ 2004 大会、北京 2008 大会、ロンドン 2012 大会に、射撃選手として 3 大会連続出場。東京 2020 組織委員会アスリート委員会委員、東京 2020 エンブレム委員会委員などを務める。パラスポーツの普及・支援活動を通じ、共生社会の実現に向け活動中。

≪コメント≫

東京 2020 聖火リレー公式アンバサダーに就任しました田口亜希です。このお話をいただいた時は正直本当にビックリしました。私でそのような大役が務まるのかなという不安と、一方でやってみたいという気持ちもありましたのでお引き受けしました。オリンピック・パラリンピックは選手が出場する大会です。一方、オリンピック・パラリンピックの聖火リレーはどなたでも参加できます。性別、そして障がい等の有無にかかわらず、聖火リレーに参加いただけますし、沿道からの応援もしていただけます。そして、テレビで観て聖火リレーを応援いただくこともできます。参加いただいた皆さまの思い出に残るような、そんな聖火リレーにしていきたいと思います。私たちアンバサダーも頑張りたいと思います。みんなで一緒に参加しましょう！

©ホリプロ

石原　さとみ（イシハラ サトミ）

女優／東京都出身

2003 年、映画『わたしのグランパ』で女優デビュー。以降、ドラマ・映画・舞台を中心に活躍し、数々の主演を務める。近年では、映画出演をきっかけにアフリカへ 3 年連続で足を運び、番組を通じてさまざまな問題を伝えるとともに、2017 年には 24 時間テレビにてチャリティーパーソナリティを務め、取材対象に真摯に向き合う姿は高い評価を受けた。

≪コメント≫

このたび、東京 2020 聖火リレー公式アンバサダーに就任しました石原さとみです。お話をいただいたときは本当に驚きましたが、それ以上の喜びと感謝とともに、いま責任感に身の引き締まる思いです。
聖火ランナー一人一人の想いをのせて聖火が繋がれていきますが、私は実際に聖火ランナーの皆さん、サポーターの皆さん、沿道の皆さん、聖火リレーに関わる全国の皆さんに一人でも多くお会いし、お話を伺い、そこで得たドラマやストーリーを誠実にお伝えできるような活動をしていきたいと思います。
皆さんと一緒に楽しみながら盛り上げていけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。

©グレープカンパニー
左：伊達みきお、右：富澤たけし

サンドウィッチマン

漫才師／宮城県出身

地元の高校で出会い、高校卒業後の 1998 年にコンビ結成。M-1 グランプリ 2007 優勝。キングオブコント 2009 準優勝。テレビ、ラジオを中心に、多方面で活躍。2011 年東日本大震災以降、出身地である東北の復興支援活動に取り組む。

≪コメント≫

東京 2020 聖火リレー公式アンバサダーに就任しました、サンドウィッチマンでございます。もう驚きです。とにかく、我々で本当に良いのでしょうか？というところでございます。まだ本当に信じられない状況です。東京 2020 聖火リレーの公式アンバサダーとして一生懸命頑張らせていただきます。我々の地元である宮城県と、福島県、岩手県の 3 県では復興の火として展示をしてくださるということで、すごく嬉しいです。多くの皆さんが観に来られると思いますし、復興の活力になると思います。
そして、聖火ランナーとして走ることができるチャンスは一生に一度あるかないかです。皆さんも是非参加していただき、思い出に残るオリンピック・パラリンピックにしていただきたいです。本当にこの大事な役割を我々サンドウィッチマンで良いのでしょうか？皆さんが驚いていると思いますが、その 50 倍僕らが驚いています。とにかく、どうにかしてしっかり盛り上げたいと思っておりますので、ご声援よろしくお願いします。頑張るぞ。皆さんも一緒に盛り上げてください。

➢ 『東京スカイツリー®特別ライティング＆レーザーマッピング』

東京スカイツリー®にて東京 2020 オリンピック聖火リレートーチのデザイン発表にちなみ、特別ライティングおよびレーザーマッピングを実施します。

≪特別ライティングおよびレーザーマッピングの詳細≫

・点灯期間　2019 年 3 月 20 日（水）～22 日（金）各日 19：00～24：00

・点灯内容　東京 2020 オリンピック聖火リレートーチのカラーによる特別ライティング

・演出内容　下記内容での天望デッキ上部への「レーザーマッピング」
東京 2020 オリンピック聖火リレー ／ Tokyo 2020 Olympic Torch Relay ／
Hope Lights Our Way

【素材のダウンロードについて】

東京 2020 プレスルーム（報道関係者向け情報サイト URL：https://media.tokyo2020.org/jp/）において、本リリース掲載の素材がダウンロードできます。番組や紙面上でご活用ください。

ユーザー名：media　　パスワード：tokyo2020media

※使用の際には「©Tokyo 2020」または、「Tokyo 2020 提供」の記載をお願いします。

【本件に関するお問い合わせ】

東京 2020 組織委員会
広報局広報部戦略広報課
担当：近藤、渡邉（さ）
電話：03-6631-1949 / FAX：03-3502-8874
Email: pressoffice@tokyo2020.jp

【東京 2020 聖火リレー公式アンバサダー、トーチデザイナー・製造企業に関する取材お申し込み】

東京 2020 組織委員会
広報局広報部戦略広報課
担当：近藤、矢吹
電話：03-6631-1949 / FAX：03-3502-8874
Email: pressoffice@tokyo2020.jp

【東京スカイツリー®特別ライティング＆レーザーマッピングに関するお問い合わせ】

東武タワースカイツリー株式会社
東京スカイツリータウン広報事務局
担当：大和
電話：03-5809-7841

東京 2020 オリンピック聖火リレー コンセプト

Hope Lights Our Way

－希望の道を、つなごう。－

支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らしだします。

https://tokyo2020.org/jp/games/torch/olympic/